

研究課題番号	S2-10-2
研究課題名	海底プラスチックごみの回収支援に向けた手法・技術の開発
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	長崎大学
研究代表者名	松下 吉樹

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

海底ごみの回収前と回収後のアマモの被度が増加するなど、清掃の重要性を明確に示している。漁業活動へのプラごみ除去の作業影響の見える化に取り組み、漁業者のプラごみ回収への考え方や消費者の考え方を示されていることは興味深く評価できる。入網プラスチック数と生物の死亡数の関係について、プラスチック量と生物などへの影響の関連を可能な限り定量的に評価しようとしており、一定の評価ができるが、プラごみ回収と支払い意思額も含め更なる検討が必要な部分がある。海底面積当たりプラゴミの数、生物生息数・種数をはじめとした海域の状況・環境、桁網等操作条件などとの関係も含め興味深い情報が一層集積されることを期待する。